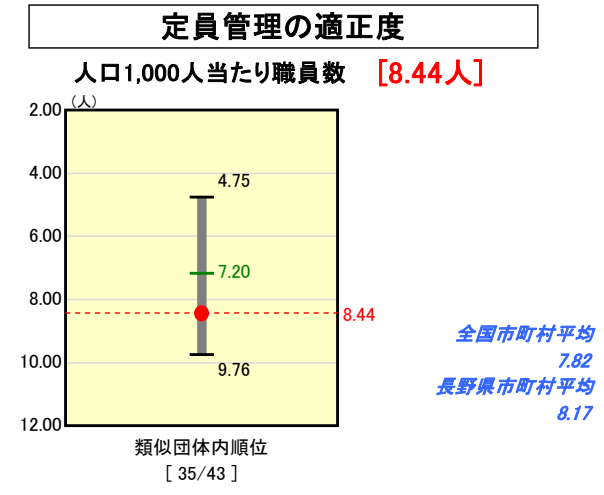
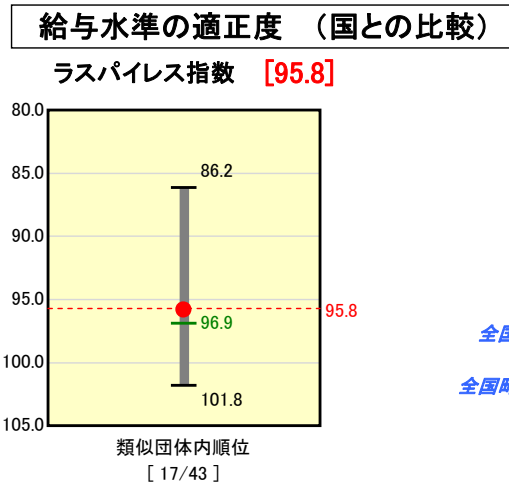
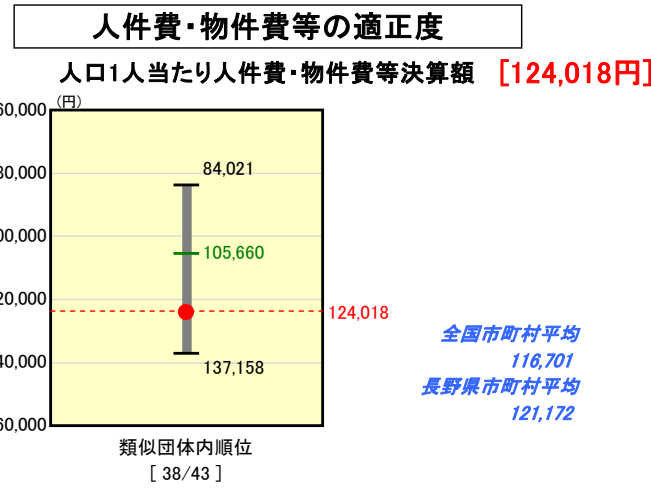
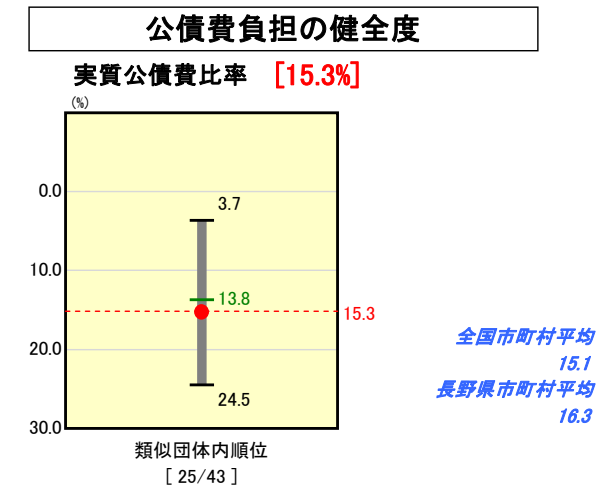
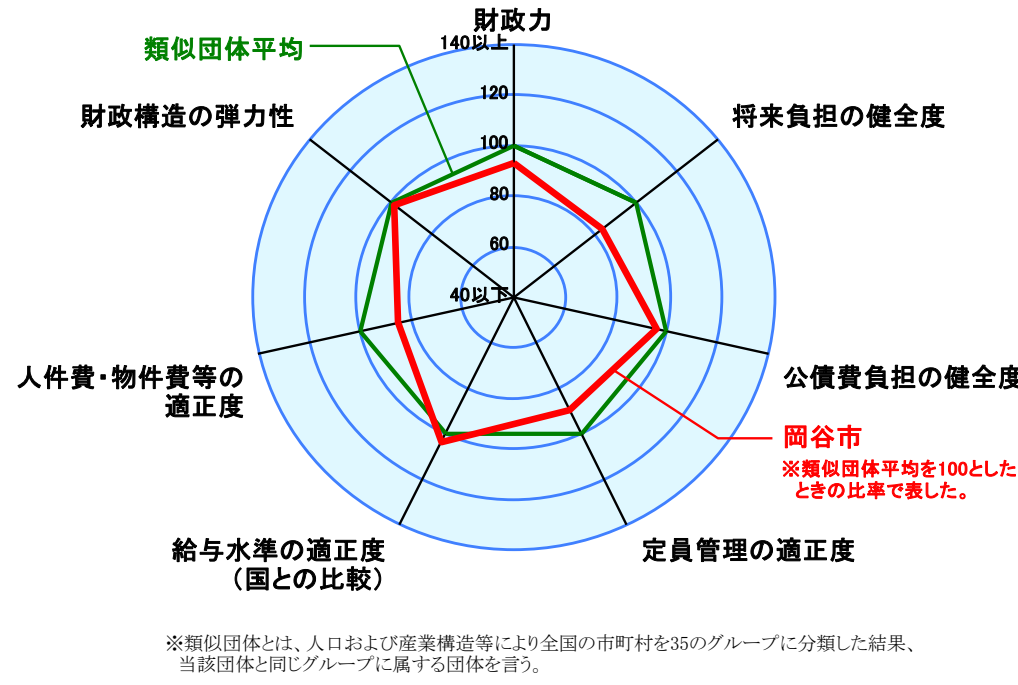
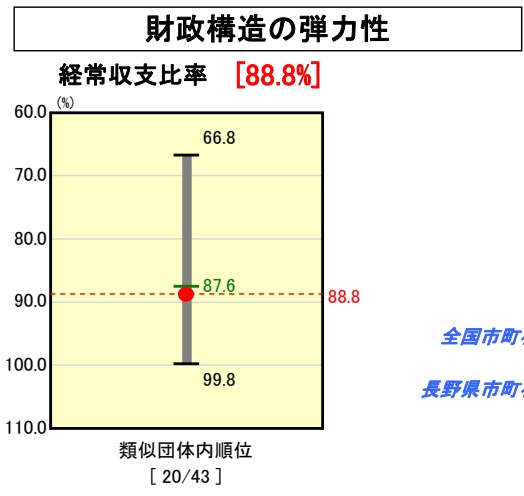
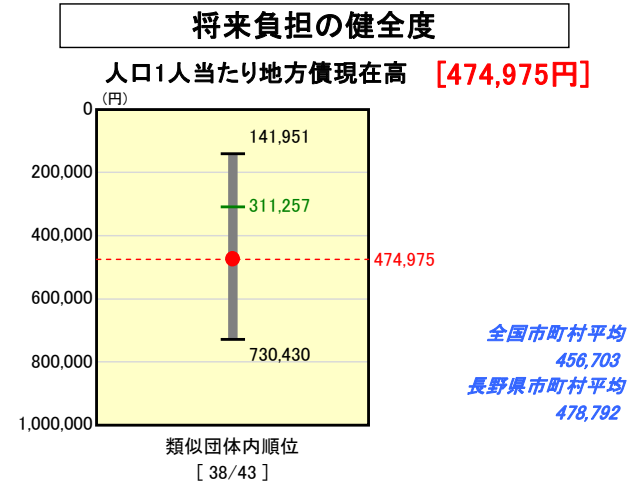
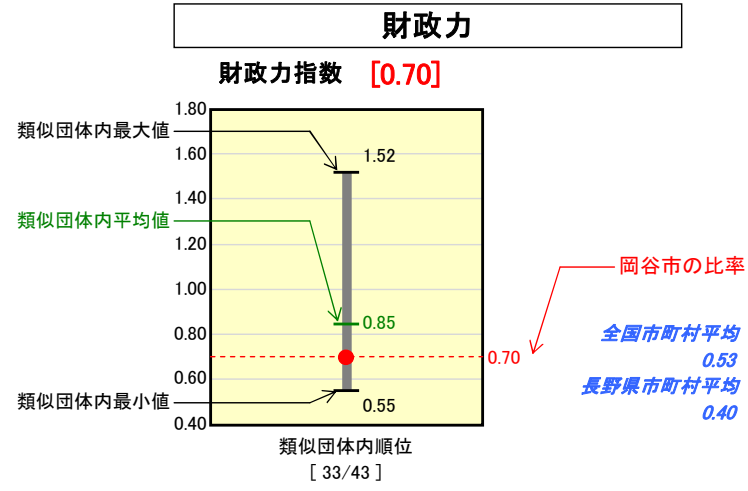


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 岡谷市

人口	54,281	人(H19.3.31現在)
面積	85.14	km ²
歳入総額	19,959,622	千円
歳出総額	19,113,641	千円
実質収支	711,701	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

<p>財政力指数 : 近年微増傾向にあるものの、類似団体平均を下回る0.70となっている。依然として人口の減少が続いているうえ、高齢化等による生産年齢人口の減少も懸念されることから、定住化を促進し市民が快適に暮らせるまちづくりを展開しつつ、行財政改革プランによる歳出抑制、歳入確保等の取り組みを進め、財政基盤の強化に努める。</p> <p>経常収支比率 : 類似団体平均を上回る88.8となっている。市税・交付税等の歳入の減少や、公債費・扶助費等の義務的経費の増大により増加傾向が続いている。引き続き経常経費の抑制に努めることはもとより、組織・職員数等の適正化による人件費の圧縮、公共施設の在り方を検討するなど、これまで以上に財政改革に取り組み、現在の水準を維持できるよう努める。</p> <p>実質公債費比率 : 類似団体平均を上回る15.3となっているのは、病院事業(岡谷病院、塩嶺病院)に係る繰出金の加算が大きな要因である。また、今後は交付税算入額の減少等により上昇が予測されることから、キャップ制の徹底など借入に一定の制限を設け、起債の抑制に努める。</p>	<p>地方債現在高 : 人口の減少と相まって類似団体平均を大きく上回っているが、平成16年度が現在高のピークとなり、今後は減少に転じるものと見込んでいる。新規借入の抑制等を行い、単年度ごとの低減幅を少しでも大きくできるように努める。</p> <p>ラスパイレズ指数 : 給与については国に準じた改正を行ってきており、全国平均を2.1下回り、類似団体平均を1.1下回っている。今後もより一層の給与の適正化に努める。</p> <p>職員数/1,000人 : 保育施策の充実(保育所数が多いこと)等により、類似団体平均を上回っている。職員数については、平成18年度から平成27年度までの10年間で、事務事業の見直し、アウトソーシング、組織改正等により、2割(約100人)の削減を図るとともに、適正配置に努める。</p> <p>人件費・物件費等 : 類似団体平均を上回っているのは、公共施設の維持管理や運営等の経費の増加によるものであり、今後行財政改革プランに添い、公共施設のあり方について、行政としての関与の必要性や、施設の統合、存廃を含めて具体的な検討をし、経費の削減を図る。</p>
--	--